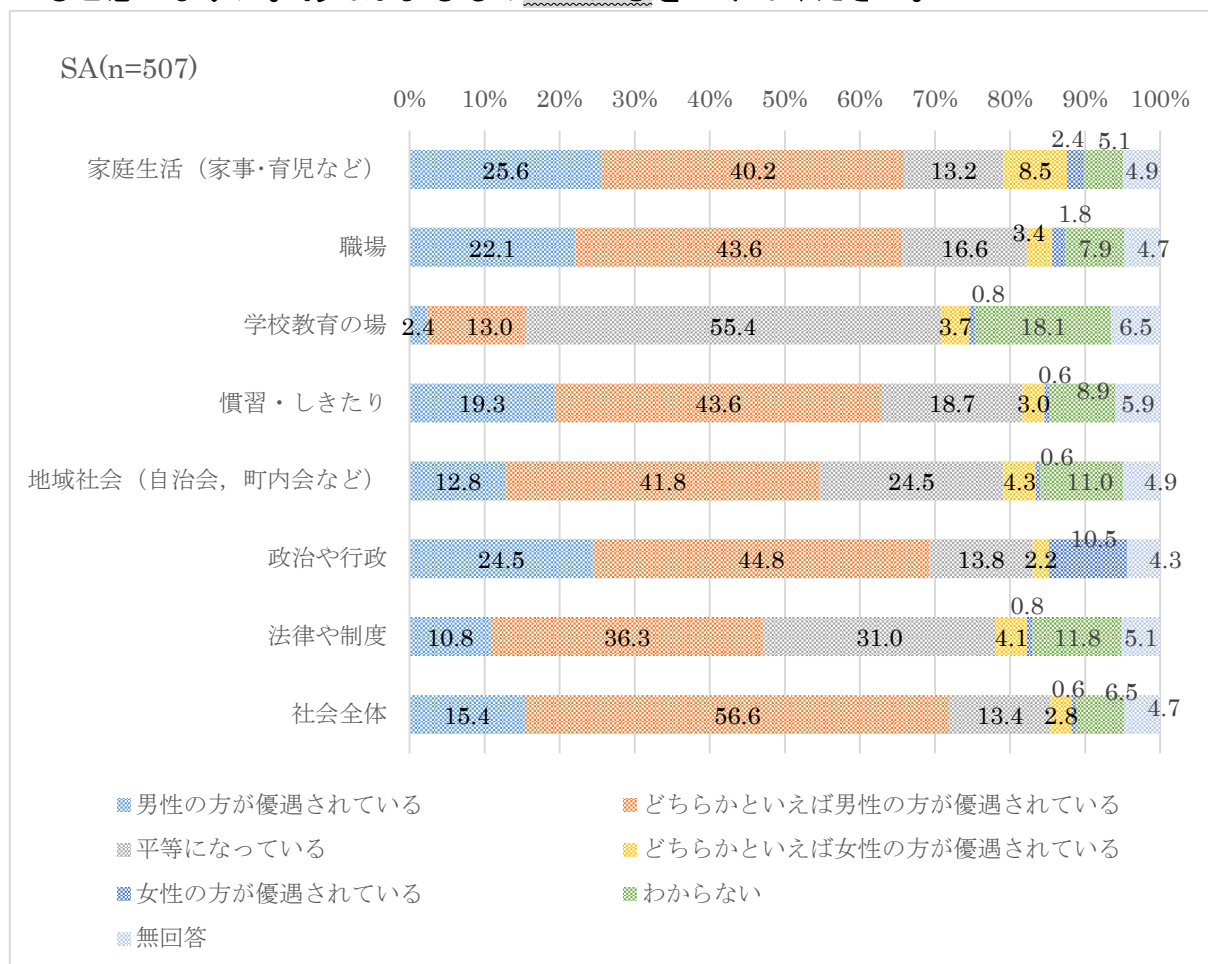


2 男女の地位の平等に関する意識について

(1) 各分野の男女の地位

問1 次の(1)～(8)にあげる分野で、男女の地位は、一般的に平等になっていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

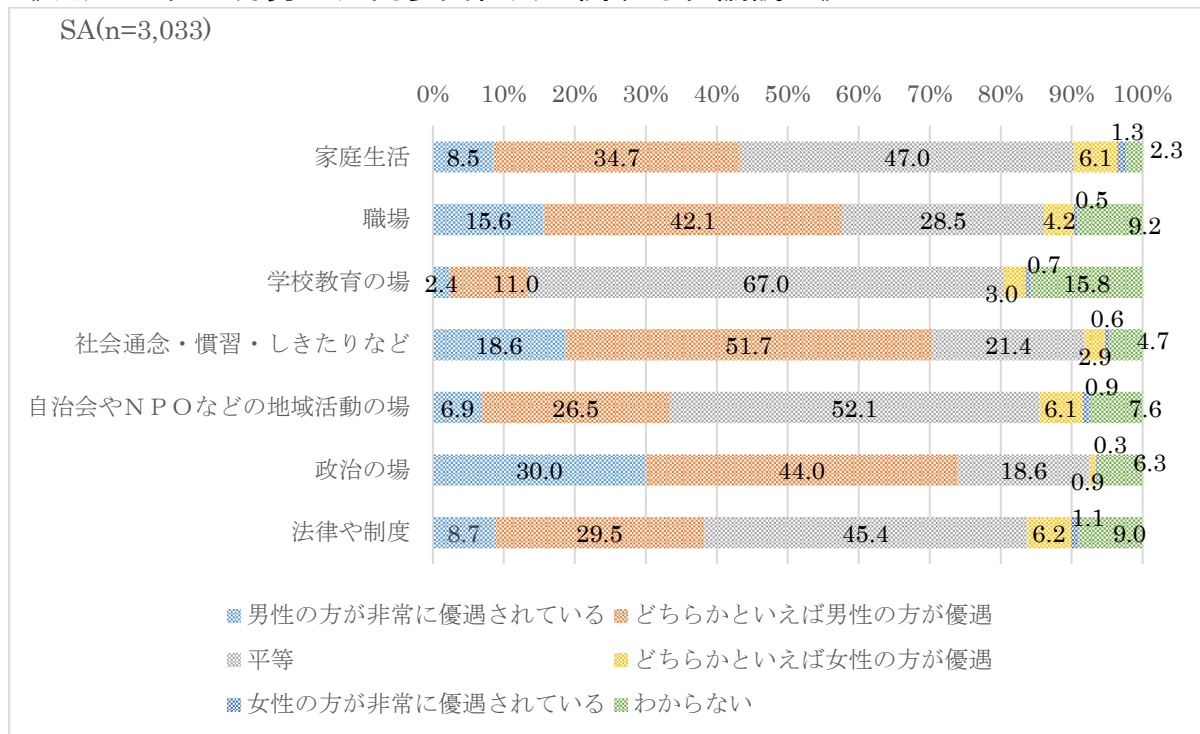


◆ 『学校教育の場』については、「平等になっている」と感じている方の割合が55.4%と高い。

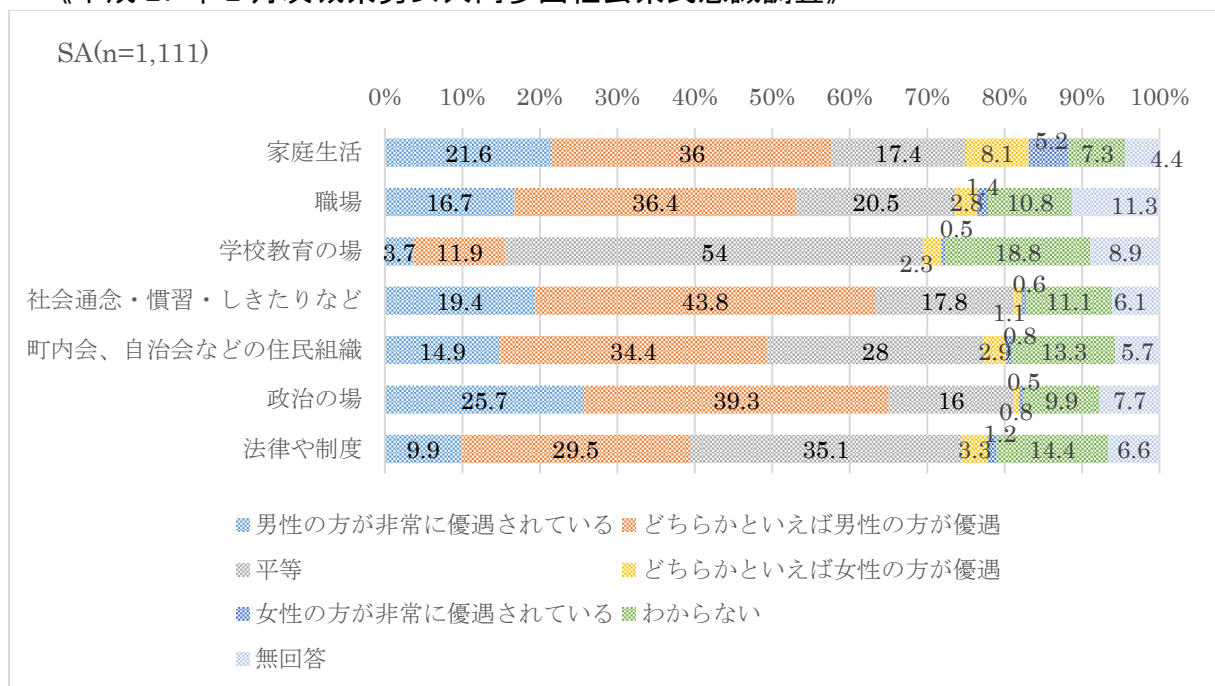
一方でそのほかのほとんどの分野において「男性の方が優遇されている（「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。）」と感じている割合が60%前後と高く、「政治や行政（議会や各種審議会など政策・方針決定の場への女性の参画）」、「家庭生活（家事・育児など）」、「職場」, 「慣習・しきたり」の順となっている。

※ 参考

《平成 24 年 10 月男女共同参画社会に関する世論調査》

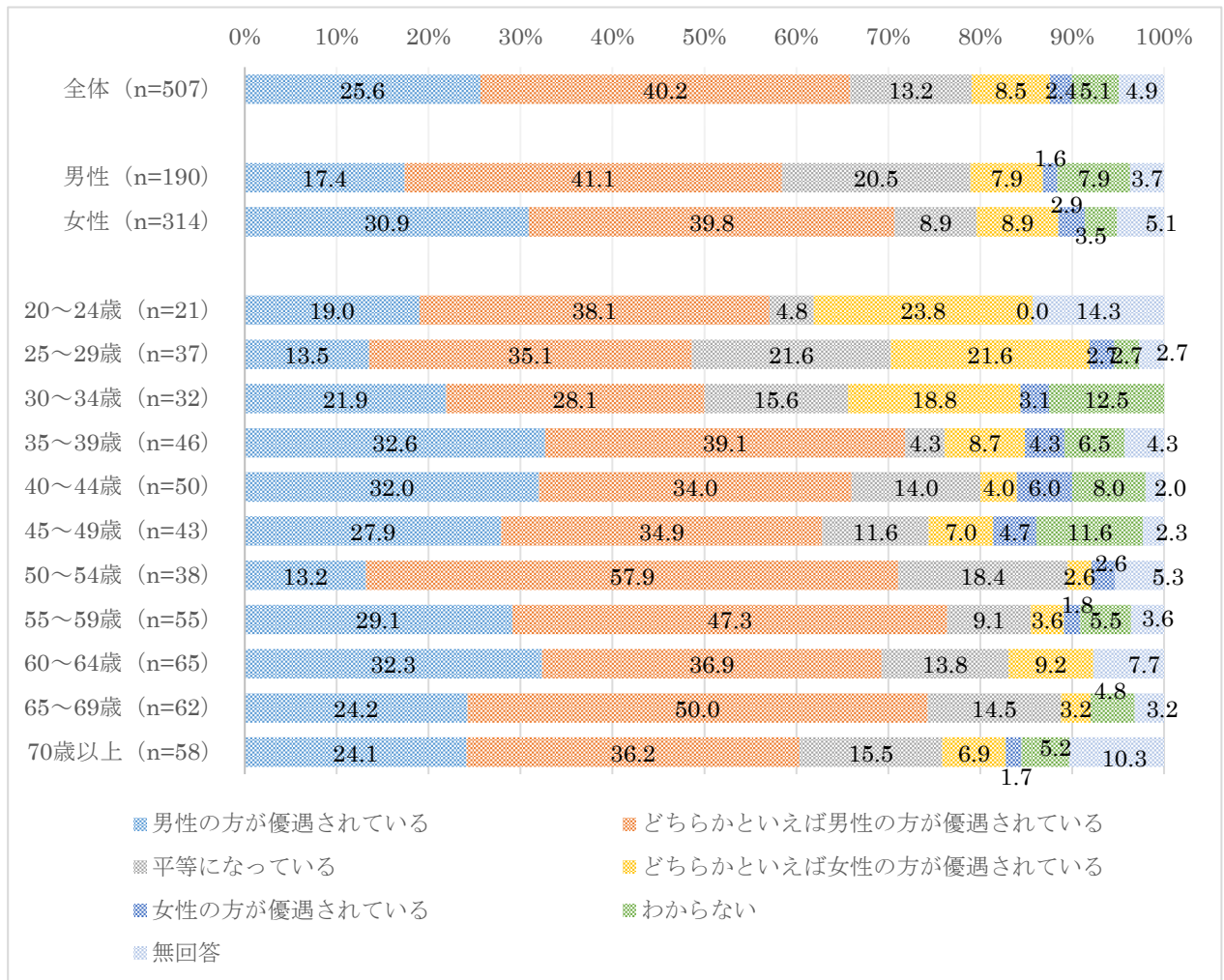


《平成 27 年 2 月茨城県男女共同参画社会県民意識調査》



【各分野の男女の地位（各属性別）】

① 家庭生活（家事，育児など）



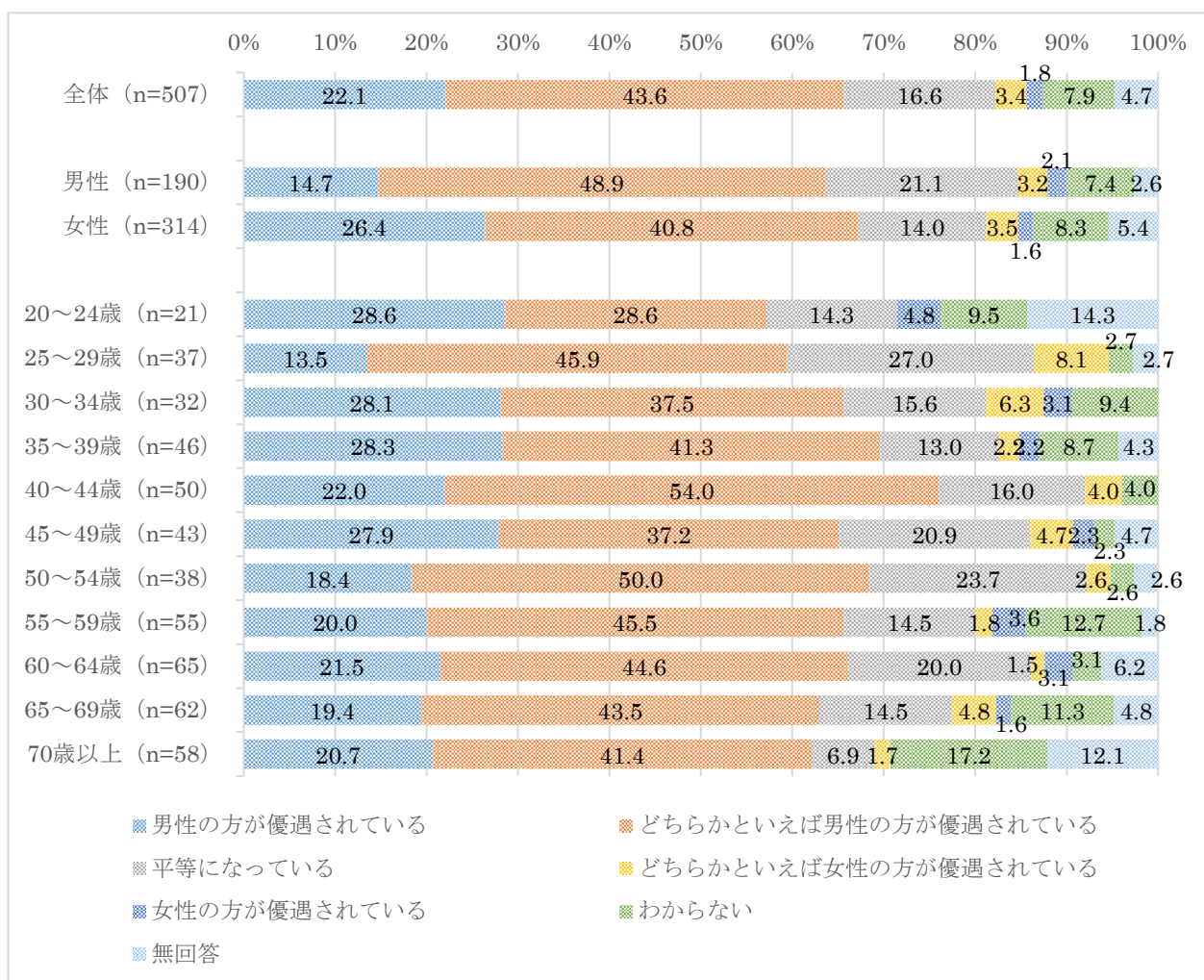
『家庭生活（家事，育児など）』については，全体の65.8%が「*男性の方が優遇されている」，13.2%が「平等になっている」と感じている。

男女別では，「平等になっている」（男性：20.5%，女性8.9%）と感じている割合は，男性が女性を11.6%上回っている一方で，「*男性の方が優遇されている」（男性：58.5%，女性：70.7%）と感じている割合は，女性が男性を12.2%上回っている。

年代別で見ると，30代後半以降の年代は「*男性の方が優遇されている」と感じている割合が高くなっており，特に50代，60代では概ね7割以上となっている。

*「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。

② 職場



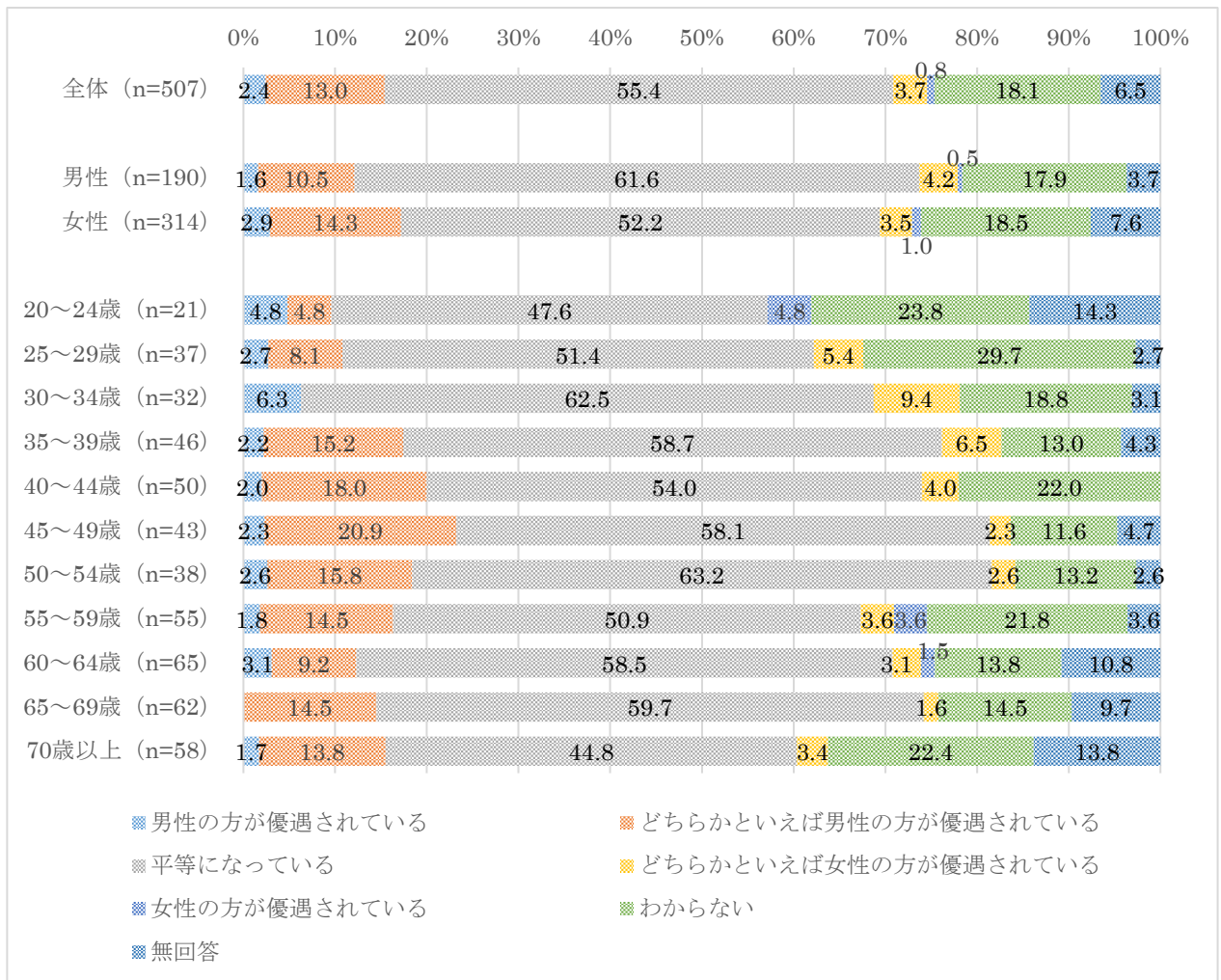
『職場』については、全体の65.7%が「*男性の方が優遇されている」、16.6%が「平等になっている」と感じている。

男女別では、「平等になっている」(男性:21.1%, 女性14.0%)と感じている割合は、男性が女性を7.1%上回っている一方で、「*男性の方が優遇されている」(男性:63.6%, 女性:67.2%)は、女性が男性を3.6%上回っている。

年代別で見ると、ほとんどの年代で概ね6割以上が「*男性の方が優遇されている」と感じており、最も高いのは40代前半で76.0%となっている。

*「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。

③ 学校教育の場

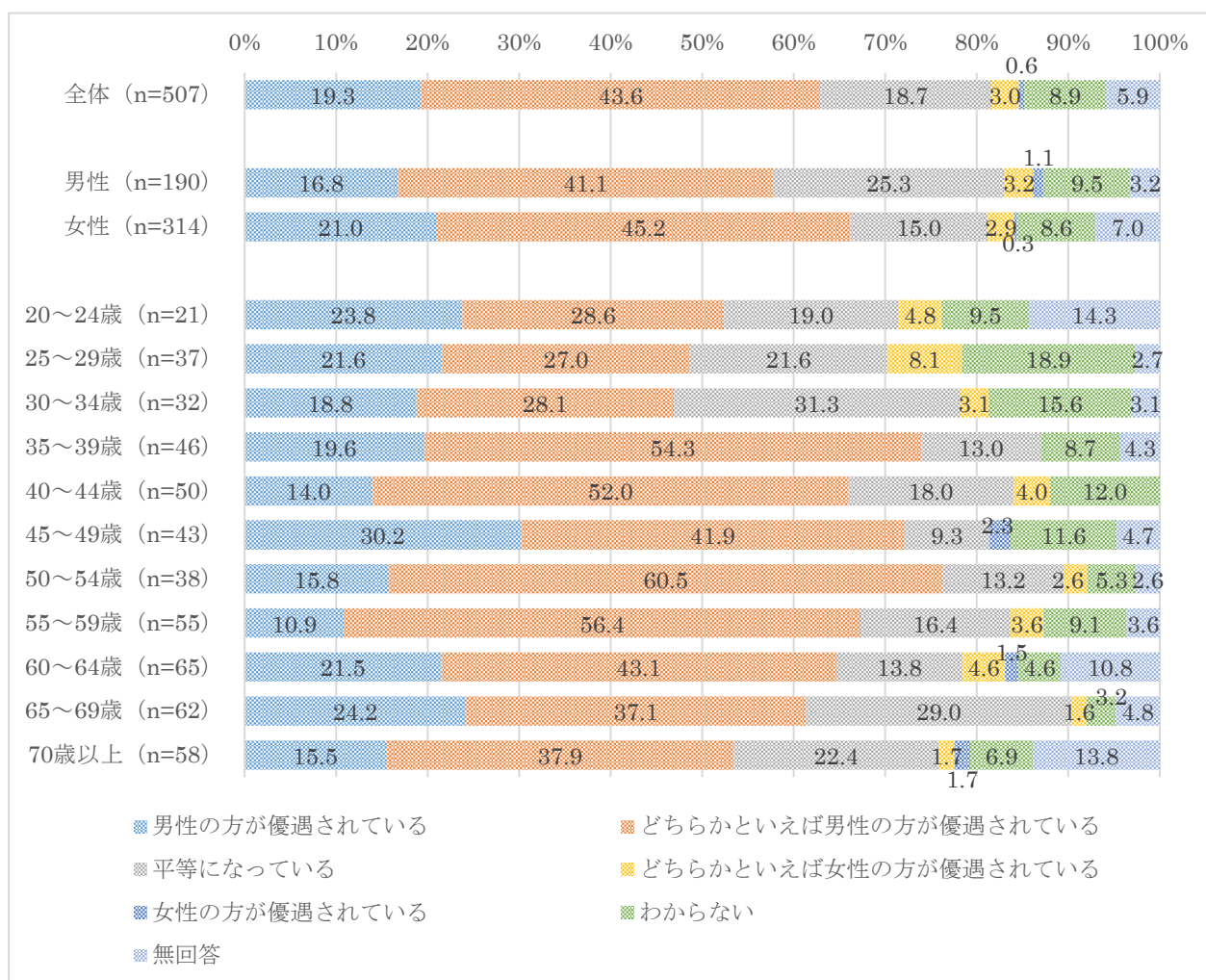


『学校教育の場』については、全体の55.4%が「平等になっている」と感じている。「わからない」と答えた割合は18.1%で、他の分野に比べ多かった。

男女別では、「平等になっている」（男性：61.6%、女性52.2%）と感じている割合は、男性が女性を9.4%上回っている。年代別で見ると、他の年代に比べ40代から50代前半の世代で「*男性の方が優遇されている」が2割を超えている。

* 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。

④ 慣習・しきたり



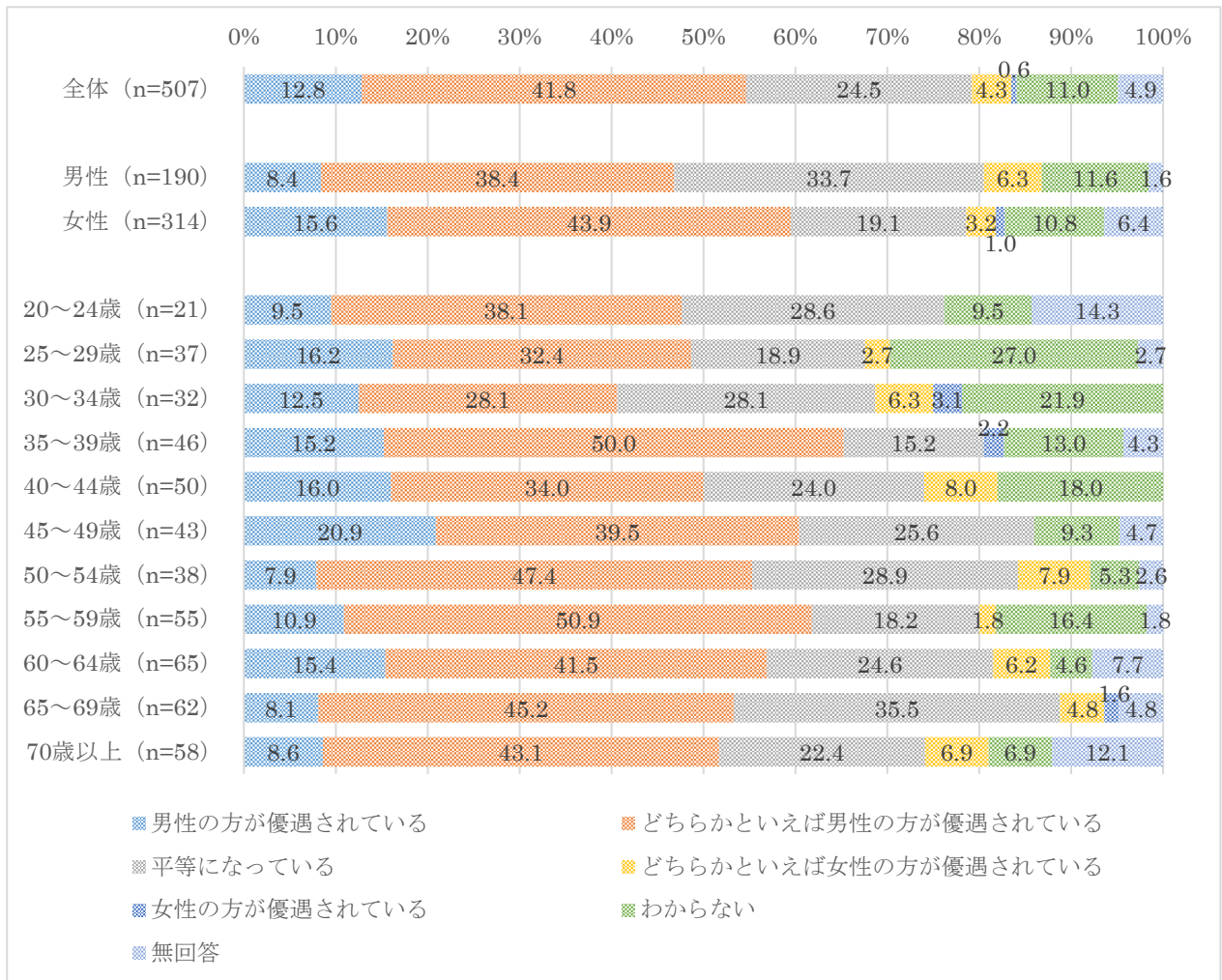
『慣習・しきたり』については、全体の62.9%が「*男性の方が優遇されている」、18.7%が「平等になっている」と感じている。

男女別では、「平等になっている」（男性：25.3%、女性15.0%）と感じている割合は、男性が女性を10.3%上回っている一方で、「*男性の方が優遇されている」（男性：57.9%、女性：66.2%）は、女性が男性を8.3%上回っている。

年代別で見ると、30代後半以降から60代にかけて「*男性の方が優遇されている」が6割を超え、50代前半が最も高く76.3%、次いで30代後半73.9%であった。

* 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。

⑤ 地域社会（自治会，町内会など）



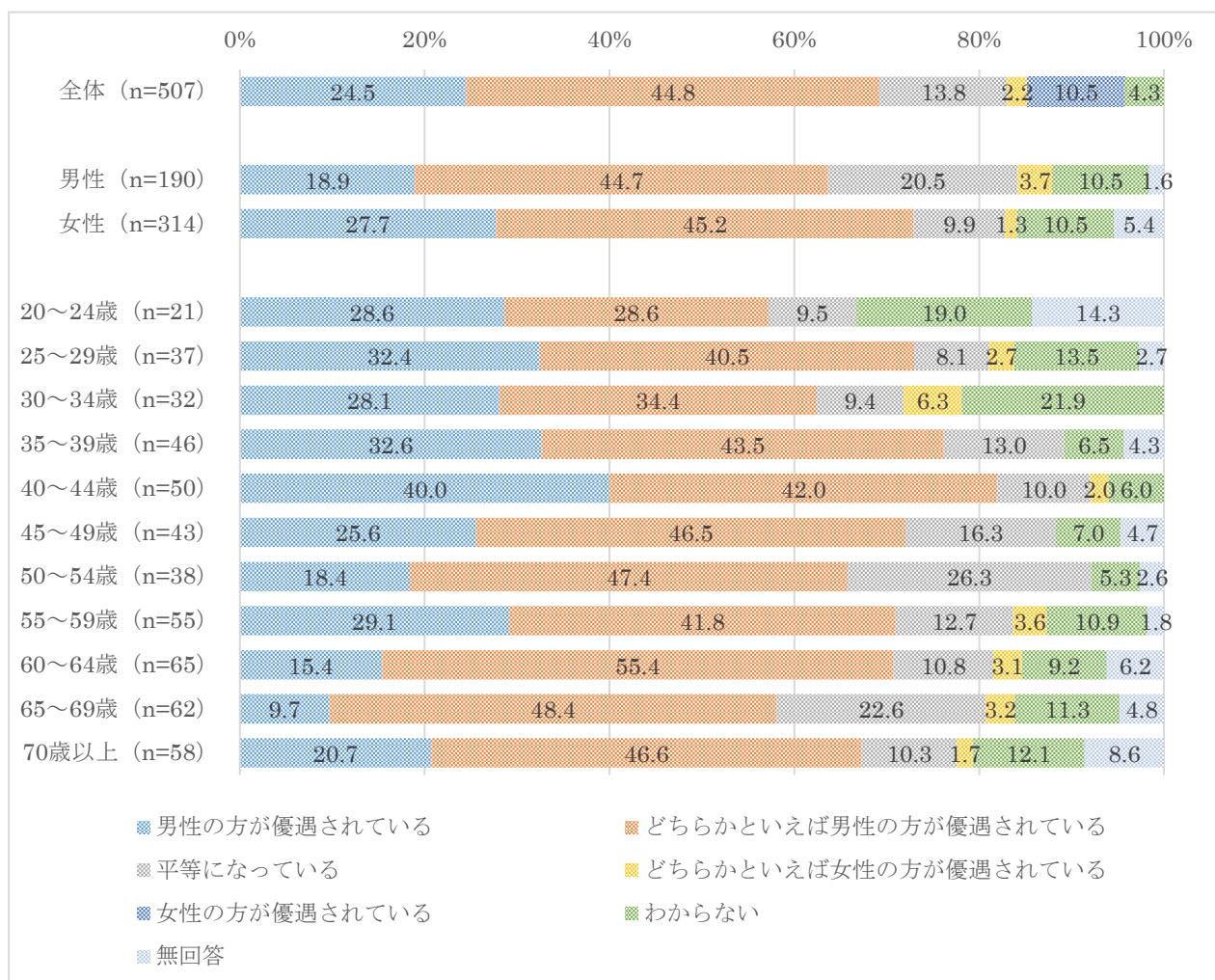
『地域社会（自治会，町内会など）』については，全体の54.6%が「*男性の方が優遇されている」と感じている。また，全体の24.5%が「平等になっている」と感じており，『学校教育の場』，『法律や制度』に次いで3番目に高くなっている。

男女別では，「平等になっている」（男性：33.7%，女性19.1%）と感じている割合は，男性が女性を14.6%上回っている一方で「*男性の方が優遇されている」（男性：46.8%，女性59.5%）は，女性が男性を12.7%上回っている。

年代別で見ると，「*男性の方が優遇されている」は，30代後半以降で5割を超え，30代後半が最も高く65.2%，次いで50代後半61.8%であった。

*「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。

⑥政治や行政（議会や各種審議会など政策・方針決定の場への女性の参画）



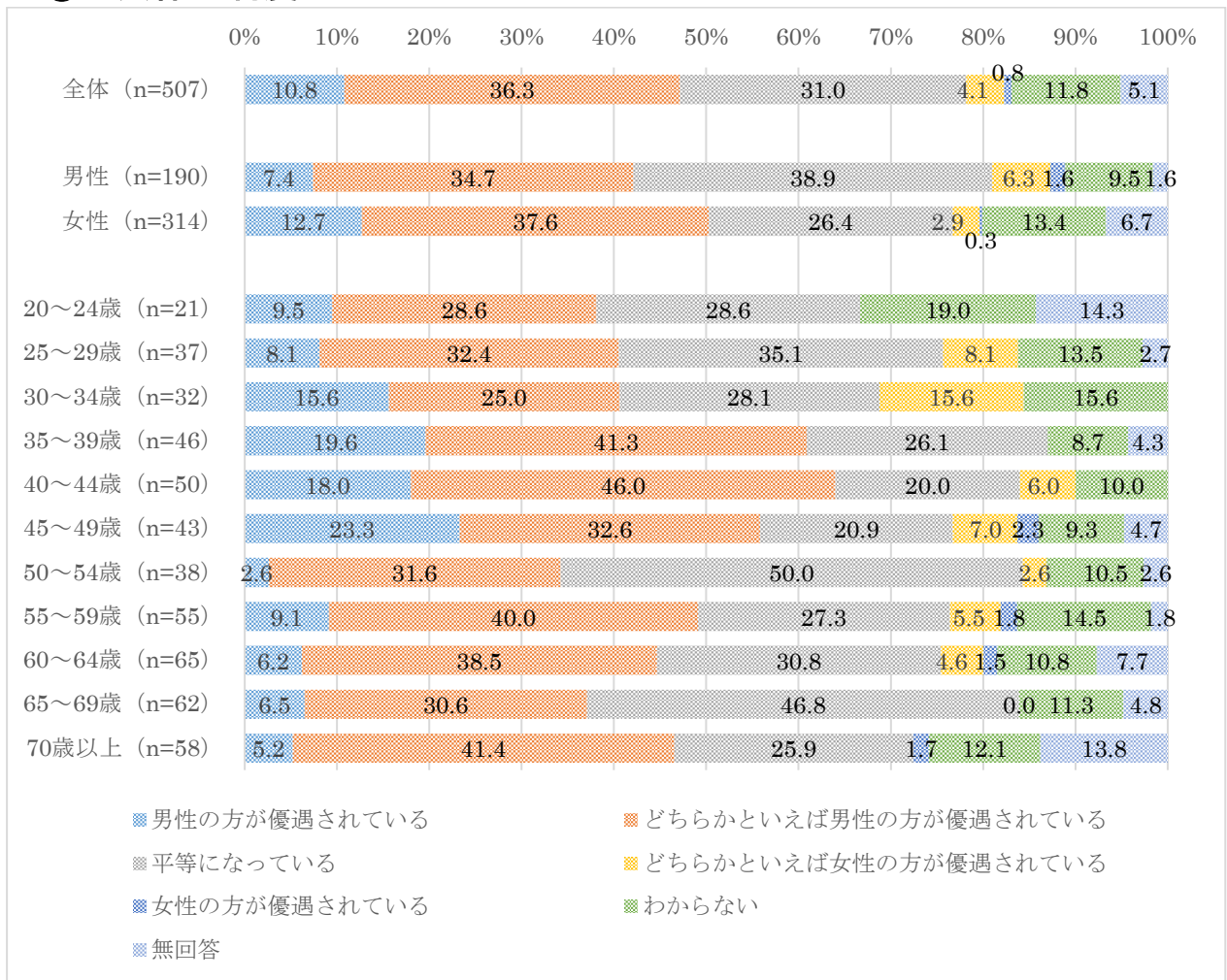
『政治や行政（議会や各種審議会など政策・方針決定の場への女性の参画）』については、全体の69.3%が「*男性の方が優遇されている」、13.8%が「平等になっている」と感じている。

男女別では、「平等になっている」（男性：20.5%、女性9.9%）と感じている割合は、男性が女性を10.6%上回っている一方で、「*男性の方が優遇されている」（男性：63.6%、女性：72.9%）は、女性が男性を9.3%上回っている。

年代別で見ると、ほぼすべての年代において「*男性の方が優遇されている」が6割を超え、40代前半が最も高く82.0%、次いで30代後半76.1%であった。

*「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。

⑦ 法律や制度



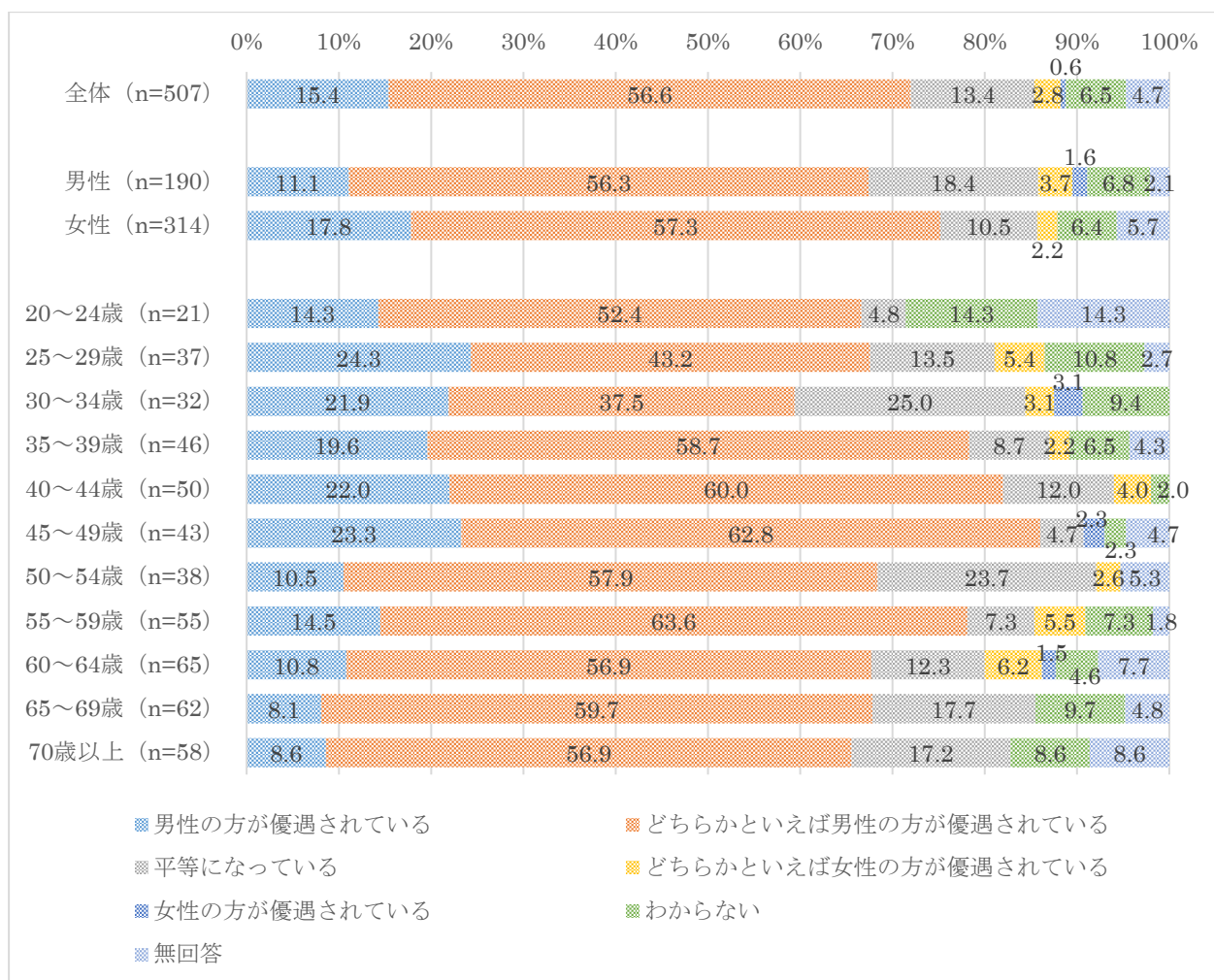
『法律や制度』については、全体の 47.1%が「*男性の方が優遇されている」、31.0%が「平等になっている」と感じており、『学校教育の場』に次いで、「平等」だと感じている割合が高くなっている。

男女別では、「平等になっている」（男性：38.9%、女性 26.4%）と感じている割合は、男性が女性を 12.5%上回っている一方で、「*男性の方が優遇されている」（男性：42.1%、女性：50.3%）は、女性が男性を 8.2%上回っている。

年代別で見ると、30代後半から40代前半は「*男性の方が優遇されている」が6割を超えている一方で、50代、60代の概ね4割程度が「平等になっている」と感じている。

*「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。

(2) 社会全体



◆ 全体の72.0%が、社会全体で見たときに、「*男性の方が優遇されている」と感じている。

『社会全体』については、全体の72.0%が「*男性の方が優遇されている」、13.4%が「平等になっている」と感じている。

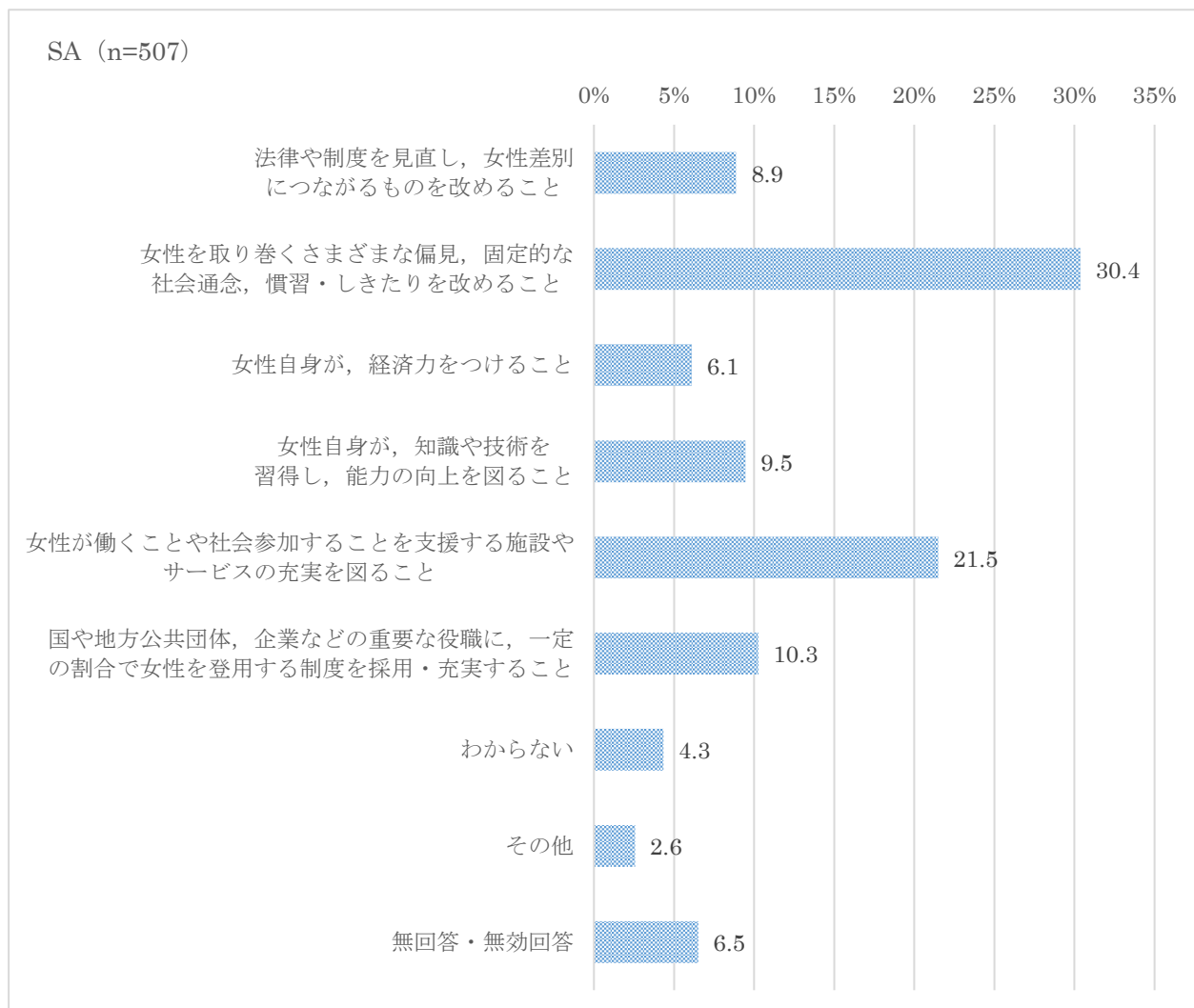
男女別では、「平等になっている」（男性：18.4%，女性10.5%）と感じている割合は、男性が女性を7.9%上回っている一方で「*男性の方が優遇されている」（男性：67.4%，女性：75.1%）は、女性が男性を7.7%上回っている。

年代別で見ると、ほぼ全ての年代で「*男性の方が優遇されている」が7割前後を超えており、40代後半が最も高く86.1%、次いで40代前半82.0%、50代後半78.1%となっている。

* 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む。

(3) 男女の地位が平等になるために重要なこと

問2 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために、最も重要なことは何だと思えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



【その他の回答】

- 無理に平等にする必要は無いと思う。男女それぞれ足りない能力を助けてもらうという心の持ち方の方が大事。
- 男性が育児休暇，介護休暇，有給休暇を利用しやすい環境づくり。
- 男女の身体差は当然あるのであらゆる分野での平等はありえない。
- 平等である必要はない。
- 男女平等のあり方を議論する事が大切ではないでしょうか。
- 男性自身の意識改革。いくら制度や法，慣習，ほかを変えても根本的に男性自身が上から目線感情を変えなきゃ駄目だと思う。
- 男性と女性では，いろいろな職種において男性のほうが大変で平等にはいかない。分野分野での異なりがある。

◆「女性を取り巻くさまざまな偏見，固定的な社会通念，慣習・しきたりを改めること」が3割を超え，次いで「女性が働くことや社会参加することを支援する施設やサービスの充実を図ること」が概ね2割であった。

男女が平等になるために重要なことは，「女性を取り巻くさまざまな偏見，固定的な社会通念，慣習・しきたりを改めること」(30.4%)が最も高く，次いで「女性が働くことや社会参加することを支援する施設やサービスの充実を図ること」(21.5%)となっている。

【各属性別】

		に法律や制度を見直し，女性差別	見女性を取り巻くさまざまな偏見・	と女性自身が，経済力をつけるこ	し女性自身が，知識や技術を得	の女性が働くことや社会参加する	性を登用する制度を採用・充実	国や地方公共団体，企業などの	わからない	その他	無回答・無効回答
性別	男性(n=190)	10.0%	32.6%	5.8%	8.9%	14.7%	13.7%	4.2%	3.7%	6.3%	
	女性(n=314)	8.0%	29.3%	6.4%	9.9%	25.5%	8.3%	4.5%	1.9%	6.4%	
年齢別	20～24歳(n=21)	4.8%	14.3%	4.8%	4.8%	33.3%	4.8%	0.0%	4.8%	28.6%	
	25～29歳(n=37)	16.2%	35.1%	5.4%	2.7%	18.9%	13.5%	0.0%	2.7%	5.4%	
	30～34歳(n=32)	15.6%	18.8%	3.1%	9.4%	34.4%	6.3%	9.4%	3.1%	0.0%	
	35～39歳(n=46)	13.0%	28.3%	6.5%	6.5%	32.6%	6.5%	2.2%	4.3%	0.0%	
	40～44歳(n=50)	6.0%	40.0%	8.0%	10.0%	14.0%	12.0%	2.0%	6.0%	2.0%	
	45～49歳(n=43)	6.0%	40.0%	8.0%	10.0%	14.0%	12.0%	2.0%	6.0%	11.6%	
	50～54歳(n=38)	7.9%	26.3%	10.5%	13.2%	31.6%	7.9%	2.6%	0.0%	0.0%	
	55～59歳(n=55)	3.6%	36.4%	10.9%	10.9%	25.5%	1.8%	5.5%	1.8%	3.6%	
	60～64歳(n=65)	13.8%	23.1%	4.6%	15.4%	12.3%	20.0%	3.1%	3.1%	4.6%	
	65～69歳(n=62)	8.1%	35.5%	1.6%	12.9%	14.5%	14.5%	4.8%	1.6%	6.5%	
70歳以上(n=58)	3.4%	27.6%	3.4%	8.6%	17.2%	13.8%	10.3%	1.7%	13.8%		

男女別では，「女性を取り巻くさまざまな偏見，固定的な社会通念，慣習・しきたりを改めること」が男性女性ともに最も高く，男性では32.6%，女性では29.3%であった。また，女性では「女性が働くことや社会参加することを支援する施設やサービスの充実を図ること」が次いで25.5%であった。

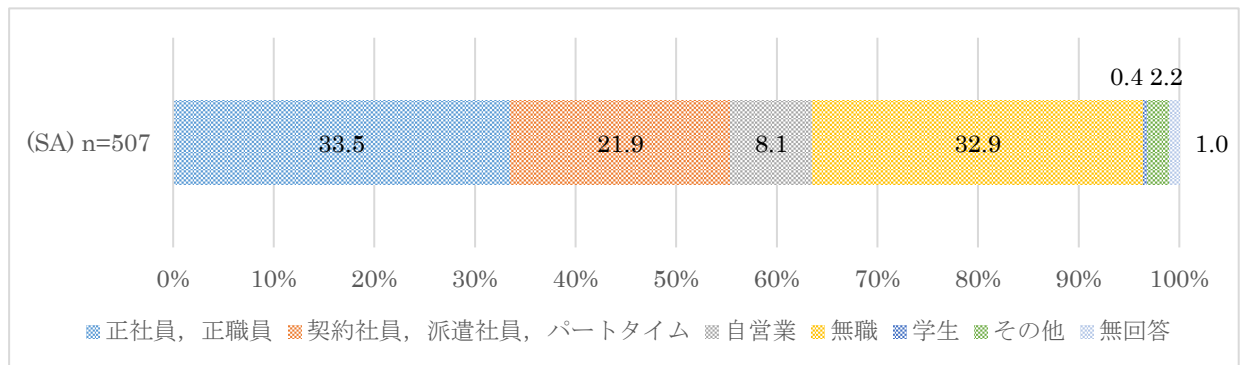
年齢別に見ると，「女性が働くことや社会参加することを支援する施設やサービス

の充実を図ること」が20代前半(33.3%), 30代前半(34.4%), 30代後半(32.6%), 50代前半(31.6%)で、「女性を取り巻くさまざまな偏見, 固定的な社会通念, 慣習・しきたりを改めること」が20代後半(35.1%), 40代前半・40代後半(40.0%), 50代後半(36.4%), 60代後半(35.5%), 70歳以上(27.6%)で最も高かった。

3 就業について

(1) 現在の就労状況について

問3 あなたの現在の就労形態は、どれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。※学生の方は、アルバイトをしても「5 学生」に○をしてください。



【その他の回答】

- 日雇労働者 (2)
- 専業主婦 (4)
- アルバイト
- 年金生活
- 定年退職し, 現在は自営業
- 正社員からパートタイムになっている
- わからない
- その他 (2)

◆ 「正社員, 正職員」, 「無職」が3割を超えている。

「契約社員, 派遣社員, パートタイム」などの非正規雇用者は概ね2割である。

「正社員, 正職員」は33.5%, 「契約社員, 派遣社員, パートタイム」は21.9%であった。